

8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 方向と長さに留意
起筆の位置は揃え中を広く
鋭く上ぞりぎみに右し上り
高い位置に太く起筆し払う
偏平に中の空間広く取る
丸みを持たせ広くあける
6の近くに大きく打ち込む

2, 1, 45度で大きく打つ
筆を起し弾力をつけ、大
きく右上へ払い出す
呼吸を受け、方向に注意し
切れ味鋭く払う
2より左から入り弾力を
筆の上下動を活かし送筆
スツキリと長く払う

4, 3, 2, 1, 左斜め上から鋭く起筆し
45度の角度でゆったり払う
接点は1と2の間くらいに
2よりやや下げ真横へ長く
払い出す

7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 太く大きく右上りに
細身に縦に長く
「口」はやや大きく縦長に
1と平行に押し出す様に
中心に長く送筆
右上りにせずに全体を支え
る様にどしりと
3つのブロックの大きさを
確認する

7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 筆を深く沈め真下に払う気
持ちで
太く折り返し大きくそる
1より下まで引き真上に
中心にしつかりと引く
全体を支える様に太く
1よりも中で納める様に

6, 5, 4, 3, 2, 1, 徐々に加圧し右上りに
中心に起筆し上部を長く
左右に広げすぎない
手だけで払わずに、筆を左
に倒すイメージで筆を運ぶ
接点は1と接触しない
同じ高さで太く短く払う

5, 4, 3, 2, 1, 中心に太く起筆し長く送筆
1の真ん中に、右斜め上に
押し出す様に強く
筆を少し倒し軽く入る
勢いをつけることで自然と
抑揚がつく
終筆細くならぬ様に筆管の
角度は変えない

7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 払いの部分を考え右側を空
けるように
45度の角度で入り勢いよく
少し短く同じ太さで
2との接点はやや左側に
倒れすぎぬ様に丁寧に払う
接点3より下に穂先を突く
同じ高さまで下げ太く払う

「夕日に雲」
あか々と燃える夕日に雲がう
つる。夏は空が高くどこまで
も見えそつだ。

「雲」に「日」を「夕」に
「夕」は「日」の「夕」に
「日」は「夕」の「日」に
「雲」は「夕」の「雲」に

「夕」は「日」の「夕」に
「日」は「夕」の「日」に
「雲」は「夕」の「雲」に

「散歩」
いぬの散歩をするとき多くの
人と出会う。コミュニケーション
が増えることはいいことだね。

「散」は「歩」の「散」に
「歩」は「散」の「歩」に
「散」は「歩」の「散」に

「散」は「歩」の「散」に
「歩」は「散」の「歩」に
「散」は「歩」の「散」に

「天地」
天地をゆるがす大地震。日
頃からのそなえをしつかりと
行おう。

「天」は「地」の「天」に
「地」は「天」の「地」に
「天」は「地」の「天」に

「天」は「地」の「天」に
「地」は「天」の「地」に
「天」は「地」の「天」に

「あめ」
七月は雨が多く、天気が悪
い日が多い。色んな所に行っ
ても雨が多いのは悲しいね。

「あ」は「め」の「あ」に
「め」は「あ」の「め」に
「あ」は「め」の「あ」に

「あ」は「め」の「あ」に
「め」は「あ」の「め」に
「あ」は「め」の「あ」に

「かさ」
大好きなかさをさして学校
へ。雨がふっていてても気分は
晴れやかになるね。

「か」は「さ」の「か」に
「さ」は「か」の「さ」に
「か」は「さ」の「か」に

「か」は「さ」の「か」に
「さ」は「か」の「さ」に
「か」は「さ」の「か」に

ポイント解説（担当：笹嶋健人）